

えんだより

2023年

5月号



NO.206

シャローム三育保育園

新年度がスタートして1ヶ月がたちました。新入園児さんの慣らし保育も終わり、子どもたちも新しい環境でだいぶ慣れてきたところでしょうか。園庭のこいのぼりもお天気の良い日は青い空を本当に泳いでいるかのようです。一人ひとりの健やかな成長を願い、安全に安心して保育園生活を過ごせるように努めてまいりますので、何かございましたら遠慮なくお声掛けください。

園長 村上 渉



避難訓練の様子も配信いたしますのでご覧ください。



日	月	火	水	木	金	土
	1 礼拝	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7	8 礼拝 英語教室	9 体操教室	10 避難訓練	11	12	13
14	15 礼拝 英語教室	16 体操教室	17	18	19 内科健診	20
21	22 礼拝 英語教室	23 体操教室	24	25	26 お弁当の日 (3・4・5歳児) 保育園職員会議	27 布団乾燥
28	29 礼拝	30 体操教室	31 誕生会			

「芽生え」

すっかり木々に若葉が茂り新緑の季節になりました。園庭のもみじやクスノキの葉も生え変わり、道端の草も次々と花が咲き色鮮やかです。一足先に植えたジャガイモもどんどん育ち、もう花を咲かせました。今年はいつもより早く収穫できそうですが、肝心の出来栄えは如何なものか。天候も重要ですがやはり「愛情を持っていつも気に掛ける」ことではないかと、毎年のように反省しつつ、何か子育てに繋がるものを感じます。

先月の幼児礼拝で、法人チャプレンの上前先生が牧野富太郎博士の話をして下さいました。牧野富太郎博士と云えば今期の朝ドラの主人公にもなっている植物学者です。幼少期から草木に興味を持ち、植物図鑑など皆無だった時代に自ら絵を描き、50万点もの植物標本を作製しました。「世の中に雑草という名の植物は無い」と、約1500種の植物に命名し94歳で没するまで研究し続けた日本植物学の父と言われています。上前チャプレンはお話の中で「小さな草や花にも一つひとつ名前があってその存在には意味があるのだから、ましてや人間は生まれてきたことに意味のない人など一人もいない。ひとり一人が尊い存在であり、いのちがある事を神様に感謝しましょう。」というメッセージを下さいました。私たちはこの世界の一員として自然から学ぶことがたくさんあります。

保育園の周りは草花が生い茂る「虫さん王国」です。草を食べる虫や、花の蜜を求めてたくさんの虫たちが集まってきます。まさに自然の営みが間近で見られる環境です。子どもは大人が思いも寄らない方向に次々と発展させる天才です。自然との関わりから子どもたちの感性が豊かに育つように、子どもたちの興味や好奇心の芽生えを大切にしたいですね。

園長

